



テーブル展開プラグインマニュアル

2025.07.14 作成

目次

プラグイン導入方法

- プラグインの導入・・・P3～P6

設定方法

- 展開元と展開先のアプリの用意・・・P7～P15
- プラグインの設定・・・P16～P25

利用方法

- アプリの動作・・・P26～P32

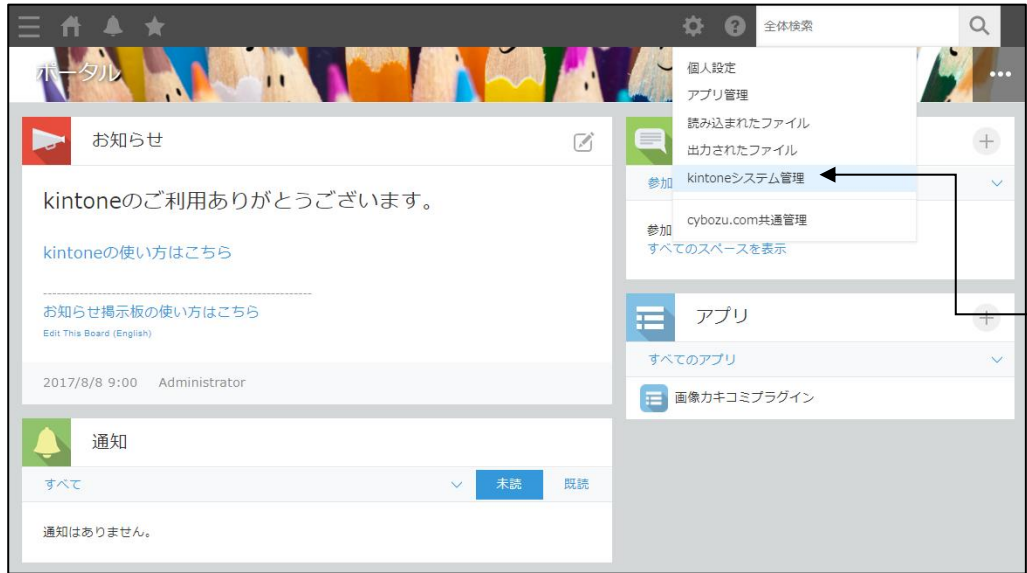


プラグイン導入方法

1. プラグイン導入

■プラグインを導入したいkintone環境のシステム管理に入ります。

右上の歯車マークを押すと項目が現れます

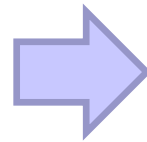


The screenshot shows the Kintone user interface. At the top right, there is a gear icon (system management) and a search icon. A dropdown menu is open from the gear icon, showing options: 個人設定 (Personal Settings), アプリ管理 (App Management), 読み込まれたファイル (Loaded Files), 出力されたファイル (Output Files), 参加 kintoneシステム管理 (Participate in Kintone System Management), 参加 cybozu.com共通管理 (Participate in Cybozu.com Common Management), and 参加 すべてのスペースを表示 (Participate in Show All Spaces). The option '参加 kintoneシステム管理' is highlighted. Below the dropdown, there is a section for 'アプリ' (Apps) with a link to 'すべてのアプリ' (All Apps) and a link to '画像力キコミプラグイン' (Image Power Kiko Mi Plugin). On the left side of the interface, there is a 'お知らせ' (Notice) section with a message about Kintone usage and a '通知' (Notification) section showing no notifications.

項目からkintoneシステム管理を選択します。
(kintoneシステムの管理権限が必要です)

1. プラグイン導入

■システム管理のプラグインに入りダウンロードしたファイルを読み込みます。



読み込みボタンを押すと下記の表示がされるので参照からダウンロードしたファイルを選択してください。



1. プラグイン導入

■テーブル展開プラグインが表示されていれば導入完了です。

読み込んだプラグイン			
プラグイン名	説明	追加しているアプリ	
 簡易絞り込みプラグイン バージョン : 0.0.1 利用許可の設定	一覧上で簡単に絞り込みが行えるようにするプラグインです。	1個	
 テーブル展開プラグイン バージョン : 1.0.2 利用許可の設定	テーブルを1行ずつに展開し他アプリに登録します。	3個	
 立字列選択プラグイン	立字列の選択が可能です。	12個	



設定方法

1. テーブル展開プラグインのイメージ

■このプラグインは、展開元アプリのテーブル1行を展開先アプリの1レコードとして登録します。そのため、テーブルのある展開元のアプリと展開先となるアプリが必要になります。

展開元アプリ > アプリの設定

展開元アプリ

フォームを保存

フォーム

展開元テーブル

行番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン 1 2	ラジオボタン 1 2
			2025-06-12 17:03	-----	☒ 1 ☐ 2

レコード情報

レコード番号 * (自動入力) 作成者 * (自動入力) 作成日時 * (自動入力)

更新者 * (自動入力) 更新日時 * (自動入力)

展開元のアプリキー *

展開先アプリ > アプリの設定

展開先アプリ

フォームを保存

フォーム

備考

名称

今日の日時

ドロップダウン 1 2

ラジオボタン 1 2 *

テーブルキー数値

グループ

レコード番号 * (自動入力) 作成者 * (自動入力) 作成日時 * (自動入力) 更新者 * (自動入力) 更新日時 * (自動入力)

アプリキー テーブルキー

1. テーブル展開プラグインのイメージ

■展開元アプリを保存する際に、展開元アプリのテーブル1行を展開先アプリの1レコードとして登録します。

行番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン1 2	ラジオボタン1 2
0	行番号は重複しない	作成順:1	2025-06-05 9:54	1	2
3		作成順:4	2025-06-05 9:55	1	1
1		作成順:2	2025-06-05 9:54		
2	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコードごとに判定される	作成順:3	2025-06-05 9:54		

レコード番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン1 2	ラジオボタン1 2	アプリキー	テーブルキー
11	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコード...	作成順:3	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	2
10		作成順:2	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	1
9		作成順:4	2025-06-05 9:55		sample1	appkey	3
8	行番号は重複しない	作成順:1	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	0

1. アプリへの設定方法 – 展開元アプリのフィールド用意

■展開元のアプリを用意します。

※既存のアプリを展開元にする場合、展開先のアプリのフィールドに既存アプリのテーブルレコードと種類が一致するフィールドを登録してください。
(展開したいフィールドのみでも使用できます)

展開元アプリ

アプリ管理者用メモはありません (作成する)

フォーム 一覧 グラフ 設定

フォームを保存

テーブル

文字列 (複数行) 文字列 (1行) 日時 ドロップダウン ラジオボタン *

レコード情報

文字列 (1行) の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

展開元のアプリキー

☐ フィールド名を表示しない

☐ 自動計算する ?

☒ 必須項目にする

☒ 値の重複を禁止する

レコード情報

レコード番号 * 作成者 * 作成日時 *

(自動入力) (自動入力)

更新者 * 更新日時 *

(自動入力) (自動入力)

展開元のアプリキー *

展開元となるキーフィールド設定 (P.18)

任意のキーを指定したい場合に作成してください。

フィールド条件

文字列 (1行) フィールド

必須項目 重複禁止 設定が必要

1. アプリへの設定方法 – 展開先アプリの作成

- 展開元アプリのテーブルの項目を、展開先アプリに用意してください。
サブテーブルからサブテーブルには展開できないため、展開先は単一フィールドを設定してください。

The screenshot illustrates the process of creating a target application (展開先アプリ) from a source application (展開元アプリ). The interface is divided into two main sections: the source application on the left and the target application on the right.

Source Application (展開元アプリ):

- Header: 展開元アプリ (Application Manager Memo is not present) (作成する)
- Navigation: フォーム, 一覧, グラフ, 設定
- Left Panel: フォームを保存, List of form elements (ラベル, リッチエディター, 数値, ラジオボタン, 複数選択, 日付, 文字列 (1行), 文字列 (複数行), 計算, チェックボックス, ドロップダウン, 時刻).
- Table Editor (Table):

文字列 (複数行)	文字列 (1行)	日時	ドロップダウン	ラジオボタン *
		2025-01-30 15:48	----- ▾	☒ 1 ☐ 2

アプリキー テーブルキー

Target Application (展開先アプリ):

- Header: 展開先アプリ (Application Manager Memo is not present) (作成する) (作成を中止)
- Navigation: フォーム, 一覧, グラフ, 設定
- Form Editor (Form):

 - Text (Multiple Lines): 文字列 (複数行)
 - Text (Single Line): 文字列 (1行)
 - Date/Time: 日時 (2025-01-30 15:48)
 - Drop-down: ドロップダウン
 - Radio Button *: ラジオボタン * (sample1, sample2)

A large blue arrow points from the table editor of the source application to the form editor of the target application, indicating the mapping of table fields to form elements.

1. アプリへの設定方法 – 展開先アプリの作成

■展開先アプリのフィールドの紐づけ設定について

展開元アプリ

アプリ: 展開元アプリ 一覧: (すべて) レコード: appkey

展開元テーブル

行番号	備考	名称
0	行番号は重複しない	作成順:1
3		作成順:4
1		作成順:2
2	1度作成した行番号は二度と割り振られないレコードごとに判定される	作成順:3

レコード情報

レコード番号

作成者

作成日時

8

2025-06-05 9:56

更新者

更新日時

2025-06-05 10:10

展開元のアプリキー

appkey

展開先アプリ内に**必須項目**や**重複禁止**が含まれているフィールドがある場合、エラーが起こる恐れがあります。

展開先アプリ

アプリ: 展開先アプリ

(すべて)

1 - 5 (5件中)

	レコード番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン 1 2	ラジオボタン 1 2	アプリキー	テーブル
	11	1度作成した行番号は二度と割り振られないレコード...	作成順:3	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	2
	10		作成順:2	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	1
	9		作成順:4	2025-06-05 9:55		sample1	appkey	3
	8	行番号は重複しない	作成順:1	2025-06-05 9:54		sample1	appkey	0
	6		caminova	2025-04-04 16:22		sample1	cami	0

1. アプリへの設定方法 – 展開先アプリの作成

■展開先アプリに文字列(1行)フィールドの「アプリキー」と「テーブルキー」を追加して、アプリの公開をします。

展開先アプリ

アプリ管理者用メモはありません (作成する)

フォーム 一覧 グラフ 設定

フォームを保存

ラベル 文字列 (1行) 文字列 (複数行) 数値 計算 チェックボックス 複数選択 ドロップダウン 日付 時刻 日時 添付ファイル リンク ユーザー選択 組織選択 グループ選択 関連レコード一覧 ルックアップ スペース 野線 グループ テーブル

レコード番号 作成者 作成日時 更新日時

文字列 (複数行)

文字列 (1行)

日時

2025-01-30 16:17

ドロップダウン

ラジオボタン *

sample1 sample2

グループ

レコード番号 * 作成者 * 作成日時 *

(自動入力) (自動入力) (自動入力)

アプリキー テーブルキー

アプリキー

展開元アプリレコードと展開先アプリレコードをつなぐための情報項目

テーブルキー

展開元アプリレコードのサブテーブルがどの行のものなのかを保存する項目

展開元アプリのプラグイン設定は後ほど説明します

文字列(1行)で作成してください

保存時に展開元のアプリキーと
テーブルキーはテーブルの行番号が格納されます。

1. アプリへの設定方法 – 展開先アプリの設定

■アプリの設定画面の「設定」タブから「APIトークン」をクリックします。



1. アプリへの設定方法 – 展開先アプリの設定

■生成ボタンを押下後、以下のようにアプリ管理以外の項目にチェックを入れて**保存**してください。保存を行わない場合、設定は有効になりません。

APIトークン [?ヘルプ](#)

外部のプログラムからREST APIを呼び出す際に使用する認証情報（APIトークン）を管理します。
この画面でAPIトークンを生成し、REST APIのリクエストヘッダに付与することで、REST APIを実行することができます。
例： `curl -H "X-Cybozu-API-Token: YOUR_TOKEN" "https://[redacted].cybozu.com/k/v1/record.json?app=1057&id=1"`

[生成する](#)

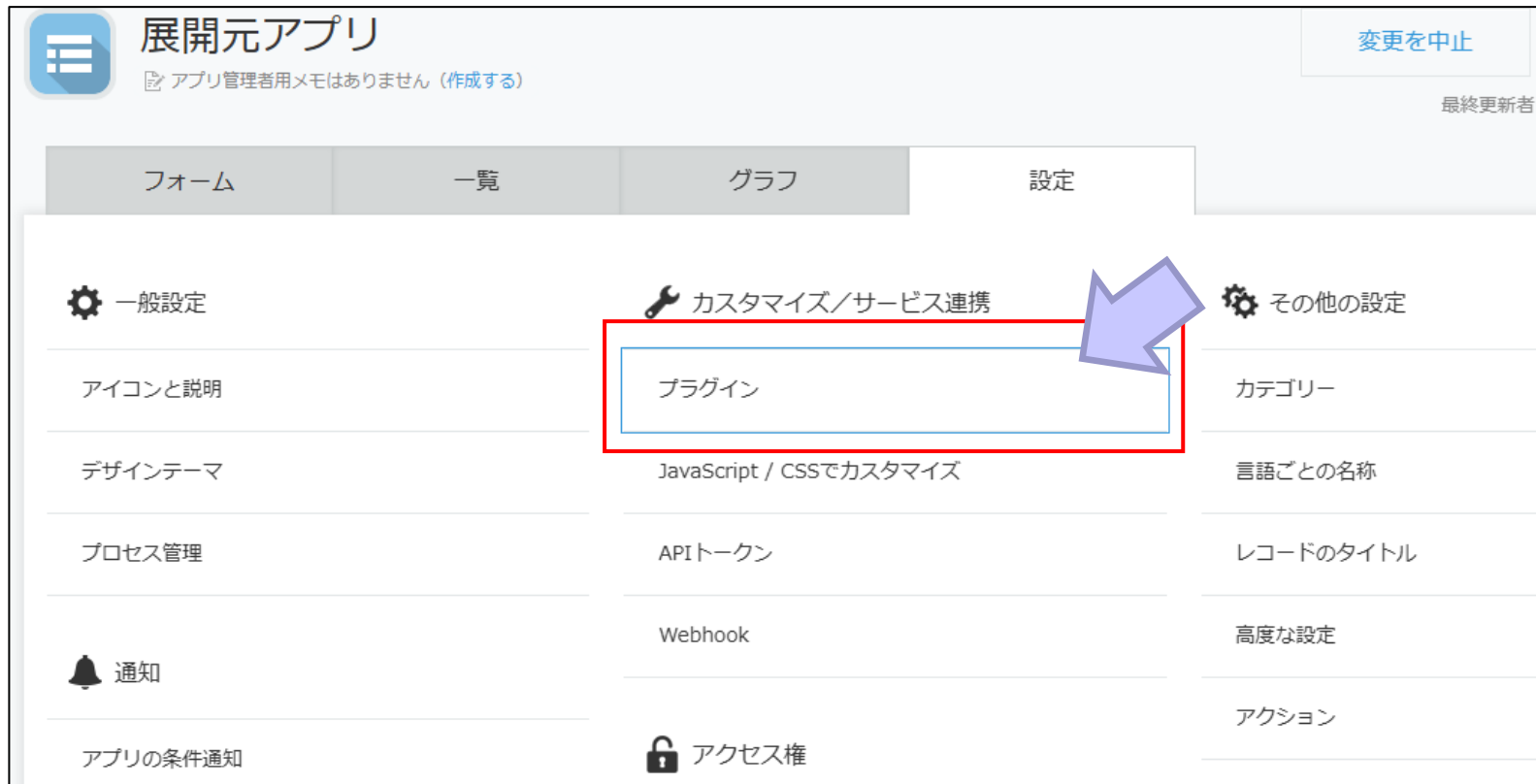
APIトークン	アクセス権	メモ
[redacted]	☒ レコード閲覧 ☒ レコード追加 ☒ レコード編集 ☒ レコード削除 ☐ アプリ管理	

以下の項目にチェックを入れた
後に保存を行う

- ・レコード閲覧
- ・レコード追加
- ・レコード編集
- ・レコード削除

2. アプリへの設定方法 – プラグインの追加

■**展開元アプリ**にテーブル展開プラグインを導入します。



2. アプリへの設定方法 – プラグインの追加

■以下の手順にしたがって、アプリにプラグインを追加してください。

The screenshot shows the Kintone plugin management page. At the top, there's a header 'プラグイン' with a help link. Below it, a text block explains that plugins can be added or set. A callout box points to the '+ 追加する' button, labeled '①「+ 追加する」をクリック'. Below this is a table with columns '状態', 'プラグイン名', '設定', and '説明'. The first row shows 'テーブル展開プラグイン' with a checked status and a description 'テーブルを1行ずつに展開し他アプリに登録します.'. A callout box points to the '追加' button at the bottom right, labeled '②「テーブル展開プラグイン」にチェックを入れ、「追加」をクリック'. A large blue arrow points to the '追加' button.

プラグイン [?ヘルプ](#)

プラグインの追加や設定を行うことができます。
[追加する]ボタンをクリックして、利用可能なプラグインから使用するプラグインを選択し
利用可能なプラグインの登録は、[kintoneシステム管理](#)から行います（kintoneのシステム管

拡張機能について知る
拡張機能で、さらに広がるキントーンでできること
拡張機能とは [プラグイン・関連サービス](#)を探す

+ 追加する

状態 ?	プラグイン名	設定	説明
☒	テーブル展開プラグイン		テーブルを1行ずつに展開し他アプリに登録します。

プラグインは追加されていません。

[< プラグインの一覧に戻る](#) [キャンセル](#) **追加**

①「+ 追加する」をクリック

②「テーブル展開プラグイン」にチェックを入れ、「追加」をクリック

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

■以下を入力したのち、取得をクリックしてください。

☒ 削除するレコードがある際に確認をする

テーブル選択 *

展開先アプリAPIトークン *

展開先アプリID *

取得

保存する キャンセル

展開元アプリの展開するテーブル
フィールドの選択

展開先アプリのAPIトークンの設定

APIトークン [?ヘルプ](#)

外部のプログラムからREST APIを呼び出す際に使用する認証情報（APIトークン）を管理します。
この画面でAPIトークンを生成し、REST APIのリクエストヘッダに付与することで、REST APIを実行することができます。
例： curl -H "X-Cybozu-API-Token: YOUR_TOKEN" "https://[redacted].cybozu.com/k/v1/record.json?app=1057&id=1"

生成する

APIトークン
[redacted]

アクセス権		メモ
☒ レコード閲覧	☒ レコード追加	
☒ レコード編集	☒ レコード削除	
☐ アプリ管理		

展開先アプリIDの設定

← → ↺ [redacted].cybozu.com/k/[redacted]1059/

kintone

展開先アプリ

更新する際に展開元のテーブルが削除されていた場合、展開先のレコードが削除されます。
チェックを付けていた場合、削除の際にエラーが表示されます。

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

■取得ボタンを押下してアプリを確定し、設定項目を入力したのち保存をします。

アプリ情報

テーブル情報

展開先アプリID *

1059

取得 展開先アプリ

展開元のキーとなるフィールド *

フィールドを指定しない(レコードID) ▾

キーを格納する展開先のフィールド *

▾

行番号を設定するフィールド *

フィールドを指定しない(テーブルID) ▾ ☒ フィールドの表示を消す ☐ フィールドを操作不可にする

行番号を格納する展開先のフィールド *

▾

展開するフィールド

展開元のフィールド	展開先のフィールド
▾	▾

☐ 空白の場合展開しない

+

保存する キャンセル

【注意】

アプリ情報「キーを格納する展開先のフィールド」と
テーブル情報の「行番号を格納する展開先のフィールド」
には**同じフィールド**を設定することができません。

展開先アプリのアプリキーを設定

展開先アプリのテーブルキーを設定

展開元アプリのフィールドと展開先アプリの
フィールドの紐づけを設定

以降のページで詳細について説明をしています

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

- フィールドの指定を行うことで、展開元アプリのデータ移行等を行うことができます。
それぞれ**展開元アプリ**のフィールドを設定します。

展開元のキーとなるフィールド *

展開元のアプリキー

キーを格納する展開先のフィールド *

アプリキー

行番号を設定するフィールド *

行番号

☐ フィールドの表示を消す ☒ フィールドを操作不可にする

行番号を格納する展開先のフィールド *

テーブルキー

行番号は、展開元アプリのテーブル行と展開先のレコードを紐づけるための要素で、行の追加・削除に応じて自動で割り振られます
行番号は展開先アプリの「テーブルキー」に格納され、テーブルの行情報を連携します

展開元のキーとなるフィールド
任意のキーを指定したい場合は
文字列1行のフィールドで作成してください。(P.7)

文字列（1行）の設定

? ヘルプ

フィールド名 *

展開元のアプリキー

☐ フィールド名を表示しない

☐ 自動計算する ?

☒ 必須項目にする

☒ 値の重複を禁止する

行番号を設定するフィールド
数値フィールド
テーブルに追加する必要がある
・『フィールドの表示を消す』でフィールドが非表示になる
・『フィールドを操作不可にする』で操作不可状態でフィールドは表示される

展開元テーブル

行番号	備考	名称

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

■行番号を設定するフィールド

『フィールドの表示を消す』でフィールドが詳細・編集画面で非表示になる
『フィールドを操作不可にする』で操作不可状態でフィールドは表示される

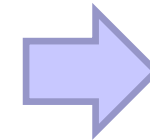
行番号を設定するフィールド *

行番号

行番号を格納する展開先のフィールド *

テーブルキー

☒ フィールドの表示を消す ☐ フィールドを操作不可にする



展開元アプリ

アプリ: 展開元アプリ

キャンセル 保存

展開元テーブル

備考	名称

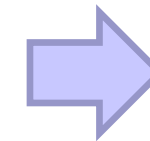
行番号を設定するフィールド *

行番号

行番号を格納する展開先のフィールド *

テーブルキー

☐ フィールドの表示を消す ☒ フィールドを操作不可にする



展開元アプリ

アプリ: 展開元アプリ

キャンセル 保存

展開元テーブル

行番号	備考	名称
0		

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

- 展開するフィールドを設定します。
展開元に設定した項目が展開先に展開されます。

展開するフィールド

展開元のフィールド	展開先のフィールド
名称	名称

☐ 空白の場合展開しない

+

展開元のフィールドが空白の場合、展開先のフィールドを上書きしないようにします。

次のページに展開先のフィールドに設定できる対応フィールドを記載しています

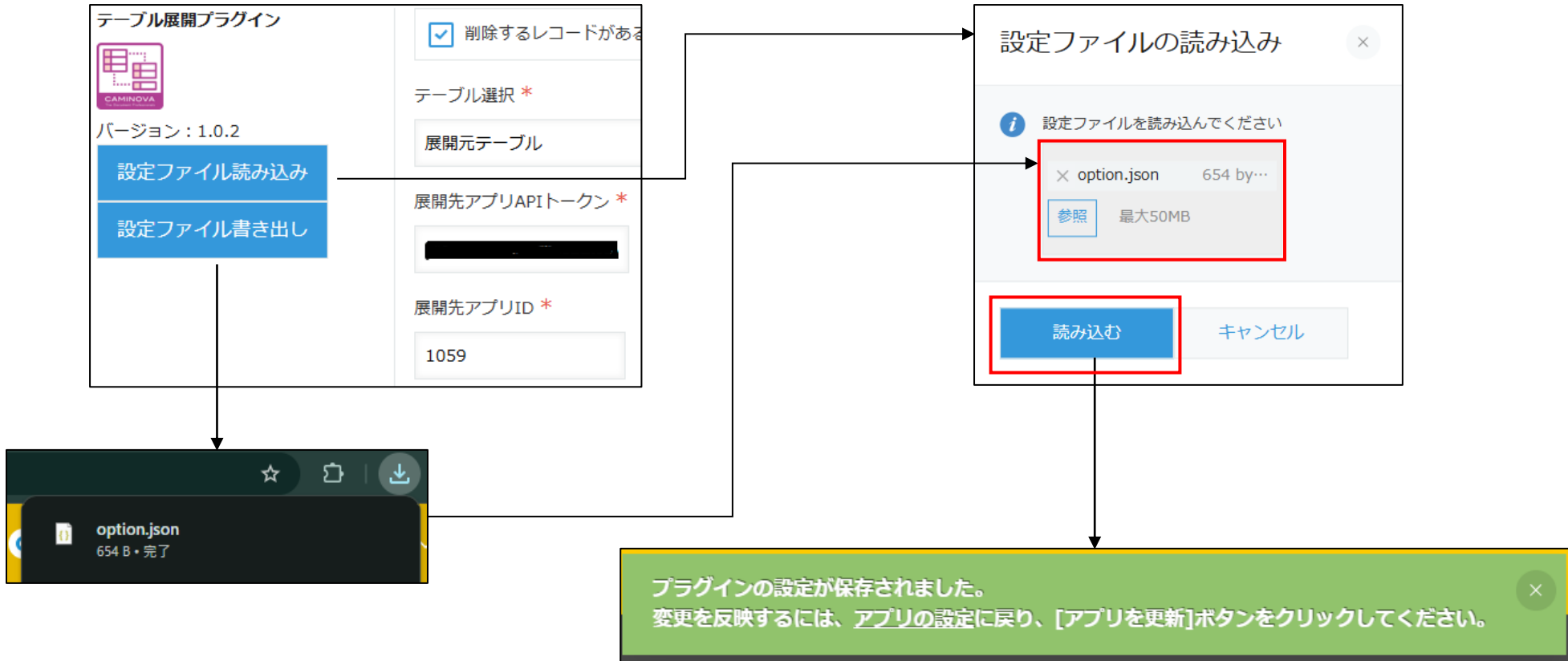
2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定

■展開先アプリの展開データのフィールド形式として設定できる対応フィールド一覧

展開元のフィールド	展開先のフィールド
文字列（1行）	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、ラジオボタン、ドロップダウン
文字列（複数行）	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、ラジオボタン、ドロップダウン
リッチエディター	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、ラジオボタン、ドロップダウン
数値	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、数値、ラジオボタン、ドロップダウン
計算	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、数値、ラジオボタン、ドロップダウン
ラジオボタン	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、数値、ラジオボタン、ドロップダウン
ドロップダウン	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、数値、ラジオボタン、ドロップダウン
チェックボックス	チェックボックス、複数選択
複数選択	チェックボックス、複数選択
ユーザー選択	ユーザー選択
組織選択	組織選択
グループ選択	グループ選択
ステータスの担当者	ユーザー選択
日付	日付、文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター
時刻	時刻、文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター
日時	日時
リンク	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター
添付ファイル	添付ファイル
テーブル	テーブル
ステータス（プロセス管理）	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、ラジオボタン、ドロップダウン
レコード番号	文字列（1行）、文字列（複数行）、リッチエディター、数値、ラジオボタン、ドロップダウン
作成日時	日時
更新日時	日時

2. アプリへの設定方法 – プラグインの設定（その他）

- プラグインの設定をjsonファイルで保存し、設定ファイル読み込みでjsonファイルを読み込ませると、同じ内容を設定できます。
保存したjsonファイルは、設定のバックアップ等で使用できます。



3. アプリへの設定方法 – プラグインの設定をアプリに反映する

■最後に、アプリの設定画面から「アプリを更新」ボタンをクリックし、プラグインの設定を反映してください。

「アプリを更新」をクリックするまで、プラグイン設定はアプリに反映されませんのでご注意ください。





利用方法

1. アプリへの設定方法 – 展開元アプリの設定

■展開元アプリにレコードを作成します。



1. アプリへの設定方法 – 展開元アプリの設定

■展開元アプリにレコードを作成して保存します。保存すると展開先アプリに展開されます。

展開元アプリ

アプリ: 展開元アプリ

キャンセル 保存

展開元テーブル

行番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン1 2	ラジオボタン1 2 *
0		caminova	2025-04-04 16:00	2	☒ 1 ☐ 2
1		カミノバ			☐ 1 ☒ 2

> レコード情報

レコード情報

レコード番号 * 作成者 * 作成日時 *

(自動入力) (自動入力) (自動入力)

更新者 * 更新日時 *

(自動入力) (自動入力)

展開元のアプリキー *

必須です。

64文字以下

アプリキーを設定している場合、キーを入力します。
展開先のフィールドが重複禁止設定であるとエラーになる可能性があります。

1. アプリへの設定方法 – 展開アプリの設定

- 展開元アプリのサブテーブルで設定したフィールドが、展開先アプリに展開されます。展開元アプリのサブテーブル1行が展開先アプリの1レコードになります。設定していない項目は書き換えられません。

展開するフィールド

展開元のフィールド	展開先のフィールド	
名称	名称	☐ 空白の場合展開しない

保存する キャンセル

レコード番号	備考	名称	今日の日時	フィールドキー数値
7		カミノバ	2025-04-04 16:22	sample1 cami 1
6		caminova	2025-04-04 16:22	sample1 cami 0

1 - 2 (2件中)

1. アプリへの設定方法 – 展開アプリの設定

■ 展開元アプリのレコードを更新した場合、展開先アプリのレコードも更新されます。
アプリキーとテーブルキーで一致しているものが対象です。

The screenshot illustrates the process of updating a record in the '展開先アプリ' (Destination App) based on a change in the '展開元アプリ' (Source App). The '展開元アプリ' window shows a table with columns: 行番号, 備考, 名称, 今日の日時, ドロップダウン 1 2, and ラジオボタン 1 2. The record for 'カフェノバ' is highlighted. The '保存' (Save) button is highlighted with a red box. The '展開先アプリ' window shows a table with columns: レコード番号, 備考, 名称, 今日の日時, ドロップダウン 1 2, ラジオボタン 1 2, アプリキー, テーブルキー, and テーブルキー数値. The record for 'カフェノバ' is also highlighted with a red box, and an arrow points from the 'カフェノバ' record in the source app to the corresponding record in the destination app.

レコードの保存時と削除時のみ保存
が実行されます。
CSVファイルの読み込み時等
の場合はプラグインは実行されません。

1. アプリへの設定方法 – 展開アプリの設定

■展開先アプリの項目を変更しても、展開元のレコードは更新されません。

展開元アプリ

アプリ: 展開元アプリ 一覧: (すべて) レコード: caminova

展開元テーブル

行番号	備考	名称	今日の日時	ドロップダウン1 2	ラジオボタン1 2
0		caminova	2025-04-04 16:00	2	1
1		カフェノバ	2025-04-04 16:01	1	1

> レコード情報

展開先アプリ

アプリ: 展開先アプリ

(すべて)

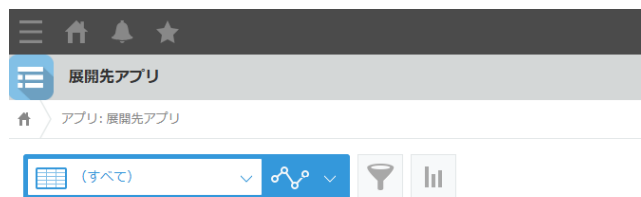
レコード番号	備考	名称↓	今日の日時	ドロップダウン1 2	ラジオボタン1 2	アプリキー	テーブルキー	テーブルキー数値
7	キントーンの場 開催日 第2第4 木曜日 17:00 ~	カフェノバ	2025-04-04 16:22		sample1	cam	1	
6		caminova	2025-04-04 16:22		sample1	cam	0	

1. アプリへの設定方法 – 展開アプリの設定

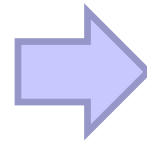
■展開元テーブルのレコードを削除した場合は、展開先アプリのレコードも削除されます。



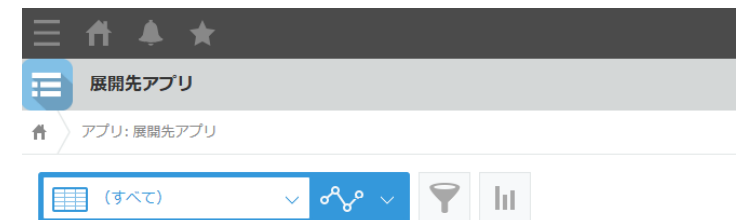
展開元テーブル		
行番号	備考	名称
0	行番号は重複しない	作成順:1
3		作成順:4
1		作成順:2
2	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコードごとに判定される	作成順:3



レコード番号	備考	名称
11	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコード...	作成順:3
10		作成順:2
9		作成順:4
8	行番号は重複しない	作成順:1



展開元テーブル		
行番号	備考	名称
0	行番号は重複しない	作成順:1
1		作成順:2
2	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコードごとに判定される	作成順:3



レコード番号	備考	名称
11	1度作成した行番号は二度と割り振られない レコード...	作成順:3
10		作成順:2
8	行番号は重複しない	作成順:1